

第14回地域がん登録全国協議会総会
研究会ならびに実務者研修会のご案内

祖父江 友孝

国立がんセンターがん予防・検診研究センター

第14回地域がん登録全国協議会総会研究会を2005年9月2日(金)国立がんセンター内国際研究交流会館3階会議場にて開催いたします。今回の総会研究会は「地域がん登録の精度向上と標準化」を主題として、海外から Parkin 先生と Shin 先生をお招きするなど、従来の総会研究会とはやや趣を異にしたプログラムとなっています。また、翌3日(土)には実務者研修会を開催する予定です。前号でのご案内を変更して、第3次対がん総合戦略祖父江班での取り組みを地域がん登録に関係する方々に紹介することを主な内容として構成しました。両日とも多数のご参加をお願い致したく、ご案内申し上げます。

9月2日(金)総会研究会

参加費:3,000円

830-945 全国協議会理事会

900 受付開始

930-1000 ポスターセッティング

1000-1020 会長挨拶 祝辞

1020-1110 特別講演1

“Standards to ensure quality of cancer registry data”

<がん登録データの質を保証するための基準>

Dr. Max D. Parkin, President,

International Association of Cancer Registries

(IACR) <国際がん登録協会 理事長>

座長:祖父江 友孝(国立がんセンター)

1110-1200 特別講演2

“Cancer Registration Network & Cancer Statistics in Korea”

<韓国におけるがん登録ネットワークとがん統計>

Dr. Hai Rim Shin, Director, Research Institute for National Cancer Control & Evaluation, Korea

<韓国国立がんセンター がん対策評価研究所 所長>

座長:早田みどり(放射線影響研究所)

1200-1230 総会

1230-1330 昼休み

1330-1410 ポスター見学

(研究所1階 セミナールーム)

1410-1500 教育講演

「地域がん登録における機密保持ガイドライン」

大島 明(大阪府立成人病センター調査部)

座長:岡本 直幸(神奈川県立がんセンター)

1500-1700 シンポジウム

「地域がん登録と院内がん登録の連携」

座長:金子 聡(国立がんセンター)

1. 地域がん登録と院内がん登録の連携

- 過去・現在・未来 -

津熊 秀明(大阪府立成人病センター)

2. 出張採録から見た院内がん登録

西野 善一(宮城県立がんセンター)

3. 診療情報から見た地域がん登録と

院内がん登録

西本 寛(大津赤十字病院)

4. 地域がん登録と院内がん登録

- 群馬県のとりのくみ -

猿木 信裕(群馬県立がんセンター)

1700 閉会挨拶

1700-1730 ポスター撤去

1800-1930 懇親会(ポスター表彰)

会場:国立がんセンター中央病院19階

クックマイスター

懇親会費:4,000円

がん登録システムに関する企業ブース設置

(国際交流会館2階)

9月3日(土)がん登録実務者研修会

参加費:1,000円

830 受付開始

司会 金子 聡

(国立がんセンター)

900-930 「第1期基準モニタリング項目収集による全国がん罹患集計の進捗状況」

丸亀 知美

(国立がんセンター情報研究部)

930-950 「地域がん登録の標準化と標準データベースシステムの役割」

味木 和喜子

(大阪府立成人病センター)

- 950-1030 「標準データベースシステム導入の実際」
柴田 亜希子
(山形県立がん・生活習慣病センター)
- 1030-1040 休憩
- 1040-1120 「標準データベースシステム開発と概要」
片山 博昭 (放射線影響研究所)
- 1120-1200 「特別発言」
質疑応答

第14回地域がん登録全国協議会総会研究会

大会会長：祖父江 友孝

事務局：国立がんセンター

がん予防・検診研究センター

情報研究部

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

Tel: 03-3542-2511 (ext3428) Fax: 03-3547-8584

Mail: JACR2005@cied2.res.ncc.go.jp

保健文化賞の受賞

8月4日夕刻、第一生命から、地域がん登録全国協議会が第57回「保健文化賞」の受賞者に選定されたとの結果が伝えられました。「保健衛生の分野において実際の活動や研究を行い、すぐれた業績をあげた団体」として地域がん登録全国協議会のこれまでの活動が認められたことは非常に喜ばしいことです。これを励みに、日本の地域がん登録事業の発展向上に向けてさらに努力しましょう(大島)

編集後記

今回初めて掲載記事及び執筆者の選定から遣らせていただき、大変勉強になりました。限られた時間の中で、超多忙な先生方が依頼を受けてくださり、全員が期限を忠実に守ってくださいましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。巻頭言の「新しいがん登録への期待と展望」の中で、中谷先生は、がん登録の必要性を踏まえた上で、今後、我々が克服していくべき道を示してくださいましたように思います。研究者と患者すなわち一般国民とのがん登録に対する意識のギャップというご指摘も、真摯に受け止める必要があるかと思えます。がん登録関係者に元気を与えて頂いたと同時に、宿題を頂いたと感じたのは、私だけでしょうか？ みんなで知恵を出し合い、頑張っていきましょう。(M.S.)

「がん医療水準均てん化の推進に関する検討会」報告書で院内がん登録の推進が取り上げられていますが、沖縄県と同様に出張採録への依存度が高い地域で業務に携わる者としては、精度向上を目指してさらに出張採録を広げることは人員や予算の面で困難な中、院内がん登録の普及により自主的届出が増加することが重要であることを日頃より認識しています。9月の地域がん登録全国協議会総会研究会ではシンポジウムのテーマとして「地域がん登録と院内がん登録の連携」が取り上げられており、実のある議論が行われることを期待します(Y.N.)

2005-2006年 関連学会一覧

2005年

- | | | |
|----------|------------------------|-------------------|
| 9月2-3日 | 地域がん登録全国協議会総会研究会(第14回) | 東京都 国立がんセンター |
| 9月13-15日 | 国際がん登録学会(IACR)(第27回) | Entebbe, Uganda |
| 9月14-16日 | 日本癌学会(第64回) | 札幌市 ロイトン札幌 他4会場 |
| 9月14-16日 | 日本公衆衛生学会(第64回) | 札幌市 札幌コンベンションセンター |

2006年

- | | | |
|----------|------------------|---------------|
| 1月23-24日 | 日本疫学会 学術総会(第16回) | 名古屋市 中小企業振興会館 |
|----------|------------------|---------------|

発行 地域がん登録全国協議会 Japanese Association of Cancer Registries 理事長 大島 明
事務局 〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター内
TEL: 06-6972-1181 (2314), 06-6977-2030 (直) FAX: 06-6977-2030 (直), 06-6978-2821
URL: <http://home.att.ne.jp/grape/jacr/>